

(別紙)

## 事業計画書

団体名・事業名・実施期間（再掲）		
学生団体名	<b>浜松やらまいかサークル</b>	
地域団体名	<b>社会福祉法人 浜松会</b>	
事業名	<b>高齢者デジタルお助け隊</b>	
実施期間	<b>令和8年8月1日 ～ 令和8年10月30日</b>	
事業の概要		
<p><b>本事業は、私たち学生団体が主体となって企画・運営し、地域の社会福祉法人と連携して高齢者施設及び協働センターにて、施設利用者及び地域住民を対象としたデジタル活用支援講座を実施するものである。学生自ら講座内容の検討、当日の運営までを担い、スマートフォンの基本操作やLINEの活用方法、行政手続きのデジタル申請などをテーマに複数回の講座を開催する。活動を通じて、高齢者のデジタル活用への不安や課題の解消を支援するとともに、学生と地域住民が交流できる機会を創出することを目指す。</b></p>		
事業を企画した背景（社会情勢、ニーズ等を踏まえて記載すること）		
<p><b>近年、行政手続きや情報収集、家族・地域との連絡手段など、日常生活においてデジタル技術の活用が不可欠となっている。一方で、高齢者の中にはスマートフォンや各種オンラインサービスの利用に不安を抱える方も多く、デジタル格差が課題となっている。また、高齢化の進展に伴い、世代間交流の機会の減少や地域コミュニティの希薄化も懸念されている。そこで私たちは、学生のデジタル活用に関する知識や経験を生かし、地域の社会福祉法人と連携して高齢者のデジタル活用を支援するとともに、世代を超えた交流の促進と地域コミュニティの活性化を目指し、本事業を企画した。</b></p>		
事業実施で目指す姿		
①現状	<b>高齢者がデジタル活用不安を持っている。</b>	
②事業で目指す姿	<b>学生と活用法を学び、日常生活で利用できるようにする。</b>	
③理想の姿	<b>デジタルを活用し、高齢者と地域社会との交流が活性化する。</b>	
事業の内容		
どこで	<b>高齢者施設や協働センター等</b>	
だれに向けて	<b>高齢者施設の利用者や地域住民</b>	
何のために（目的）	<b>高齢者のデジタル格差を改善し、地域社会との交流を促進するため</b>	
何を	<b>デジタル活用に関する講座を実施する。</b>	
役割	学生団体	<b>デジタル講座の企画・運営、地域住民への広報</b>
	地域団体	<b>高齢者施設での講座部屋の提供、施設利用者への講座紹介</b>